

委員会レポート

消防指令業務の
共同運用始まる総務教育
常任委員会

2月14日 協議会開催

平成30年4月1日から岡崎市と共同運用が始まる。消防指令業務に、消防車の出場種別を聞くことのできるテレホンサービスが新たに加わった。

Q 外国籍の方から119番があった時の対応は。

A 指令センターに入電時、5ヶ国語が話せる翻訳サービス会社に転送し、同時二者通話で対応。同一地名にどう対処。着信音が局で異なり、地区の特定ができる。

交通安全、防犯の取り組み

平成29年の交通事故は、死亡、重軽傷あわせ174件205人と前年より増加。犯罪発生は、刑法犯・窃盗犯とも減少となった。

Q 振り込め詐欺の件数と啓発メール配信数は。

A 1件100万円の被害。メール4000件程度。
Q 交通安全立番では危ない場所に立つべきでは。
A 検討。



共同運用が始まった指令センター（岡崎市）

大学病院の整備費用
負担（案）示される福祉産業建設
常任委員会

2月9日 協議会開催

幸田町と岡崎市が負担する整備補助金（上限50億円）の負担案が示された。

幸田町負担割合は15・51%。岡崎市は84・49%。

Q 負担金比率の根拠は。

A 救急搬送が想定される幸田町全域と岡崎市内の西部と南西部の人口比により算出。

Q 町負担金の積立額は。
A 今年度2億円を積立てし、合計3億円となる。

空家等対策計画案まとまる

平成28年度に実施した空家等の実態調査をもとに、空家等対策計画案がまとまった。

今後は、空家等の予防保全・利活用・特定空家に対し、行政・外部関係機関・地域住民が連携し取り組み。
Q 空家等対策の推進に関する課題は。

A 調査結果や相談窓口対応結果をデータベース化し、フォローすることが重要。

藤田保健衛生大学岡崎医療センター
（イメージ図）

地区防災訓練は 21区が実施

防災・減災対策 特別委員会

2月8日 協議会開催

平成29年度地区防災訓練は21区、5100人が参加。初めて実施したのは、上六栗区、新田区、桐山区、永野区であった。

Q ロープ結束訓練は、子どもにも役立つと思うが、人気が高くPRしたい。

A 通信訓練の内容は、各区のMCA無線機と災害対策本部との通信。

幸田町地域防災計画の修正

熊本地震の教訓から愛知県
の修正と整合を図るため。

Q 車中泊、テント泊が新たに明記されたが。

A 熊本地震や過去の教訓から国も認めた。

Q 支援物資の拠点とは。

A 町民会館が考えられるが、訓練、検証が必要。

平成29年度自主防災組織資
機材等購入事業補助金

補助額 156万9000円
補助額の限度は、費用の2分の1から1万円を引いた額。

Q 防災用車輛の買替えは、登録から15年を目安に50万円が限度。

A 登録から15年を目安に50万円が限度。

1月30日 管内視察

急傾斜地崩壊対策事業

深溝山ノ入権行寺地内
がけ崩れ危険区域に県が指定。5年の工事期間で、平成30年3月に完成する。

菱池遊水地事業

広田川は、20年間に2回の集中豪雨で、床上浸水の被害が発生した。
治水効果がある菱池遊水地の早期整備を、愛知県に働きかけている。
予定計画面積 約24ha
(東京ドームの約5倍)

JRと交差するアンダーパス施設

平成30年度の安全対策は、鷺田・仲田に路面水位標示を実施。
錦田は、電光式情報表示

急傾斜地崩壊対策事業 など視察



完成した急傾斜地対策（深溝地内）

板、バルーン式仮封鎖装置も設置済み。

ウェブカメラ設置状況

アンダーパスの3箇所と、広田川（幸田駅西人道

橋・観音橋・柳川合流点の3箇所。画像は、役場庁舎や町のホームページ、ケーブルテレビに配信され、又、消防本部では24時間体制で監視している。